

天下の至宝 — 陸心源遺書



周禮卷第九
秋官司寇第五

鄭氏注

宋元版

オンライン版

宋版一二七部 元版二三一部 全二五八部を一挙に展観

静嘉堂文庫所蔵

以爲民極乃立秋官司寇使帥其屬而嘗
邦禁以佐王刑邦國禁所以防姦者也刑正之法孝經說曰刑者例山
過出罪施刑官之屬大司寇卿一人小司寇也

天下の至宝のマイクロ化を慶ぶ

関西大学 外国語学部教授 図書館長 内田慶市

世界の宝を守る義挙

東京大学東洋文化研究所教授 大木 康

静嘉堂文庫所蔵の宋元版は中国学、東洋学のみならず他の学問領域からも珍重されてきた、まさに天下の至宝と呼ぶべき人類の知の遺産である。この度、その宋版（金版一部を含む）一二七部二、六二九冊と元版一三一部二、五五三冊、総計二五八部五、一八二冊がマイクロ版として蘇つたことは中国学を専門とするものの一人として誠に喜ばしい限りである。

この二五八部五、一八二冊はそのほとんどが稀覯本であり、天下の孤本と称されるものも少なくなく東アジア屈指のものであり、現存する最古の版本や、周禮、爾雅疏、唐書、説文解字、廣韻、歴代故事、外台秘要方、白氏六帖事類集など一八部の重要な文化財も含まれている。これらを実際に静嘉堂文庫にまで赴いて閲覧するとなれば、相当の時間とエネルギー、それにそれ相応の手続も必要となる。それが、このマイクロフィルム版の刊行によって、いとも簡単に目にすることができるのだ。研究者にとってこれ以上の便宜はない。

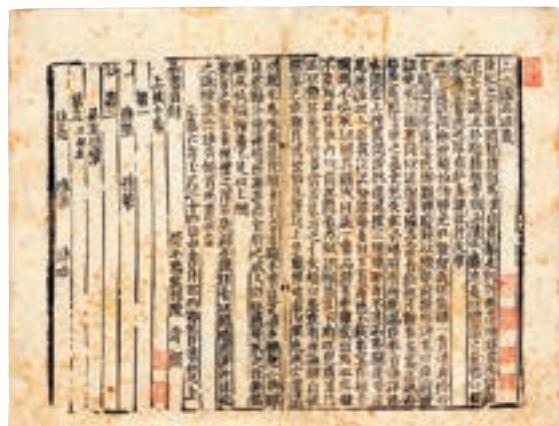
静嘉堂文庫の宋元版の多くは、清朝末期の蔵書家である陸心源の遺書であるが、陸心源の旧蔵書四万五千冊こそ静嘉堂文庫の中心を為すものであり、創設者岩崎彌之助の東洋固有の文化財を愛惜しその散逸を防ぐという意志がそこには現れている。その岩崎の意志を継承すべく、今回、マイクロフィルム版の刊行に踏み切ったその英断に対して、心からの拍手と感謝の気持ちを送りたいと思う。まこと、後世に伝えるべき「知の遺産」が保たれることになったということであり、斯界に裨益すること大であると確信するものである。

静嘉堂文庫に蔵される漢籍、とりわけ陸心源旧蔵の漢籍は、皕宋樓の名に背かず、宋元版をはじめとする多くの貴重な書物を擁することで知られる。それは世界の宝ともいえるコレクションである。陸心源旧蔵書のすぐれている点は、宋元版という書物の貴重さばかりではなく、それら書物の来歴の正しさにも求められる。

書物のたどつてきた歴史は、書物に捺された印記によつてうかがうことができる。ほんの一例を挙げるならば、南宋初期の刊本である唐の詩人王維の詩集『王右丞集』。そこには、徐乾学（乾学之印）、揆敘（謙牧堂書画記）、季振宜（季振宜藏書ほか）、黃丕烈（黃丕烈印ほか）、顧千里（顧千里経眼）、汪士鐘（汪士鐘印）などの印を見ることができる。これらの人々は、清朝一代を通じて名だたる蔵書家・目録学者たちであり、その彼らがいずれもこの書物を手に取つてみていたことが知られるのである。陸心源旧蔵書には、ほかにも明代の文徵明、項元汴、また清代の錢謙益、毛晋、朱彝尊、張金吾など、錚々たる人々の旧蔵書を見ることができる。宋元版という古さに加え、書物が経てきた歴史がまた貴重なのである。

このようにして、数百年、あるいは千年以上もの長きにわたる人々の愛着と努力によつて守られてきた結果、この書物が現在この世に存在している。その貴重な書物に、われわれの時代において損傷を加えるわけにはいかない。

われわれは書物を愛する。だが一方で、書物は人が手に取ることによって確實に傷む。この矛盾を解決してくれるのが、複製の技術である。書物の内容の問題は、複製本によつて、かなりの場合解決可能である。ここに静嘉堂文庫所蔵本のマイクロフィルム化につき豊富な経験を有する雄松堂書店が、漢籍宋元版のマイクロフィルム版を出されることは、書物の閲覧を容易にする意味においても、また書物を守り後世に伝える意味においても、きわめて大きな意義がある。世界の宝を守る義挙といえるだろう。



64外台秘要方 南宋時代（重文）

24呉書 南宋時代（重文）

中国古版の標本たるべき書物群

京都大学名誉教授 高田時雄

静嘉堂文庫の宋元古版はもと帰安（現在の浙江省湖州市）の陸心源が蒐集し、その蔵書楼たる皕宋樓の珍藏であつたが、明治四十年（一九〇七）三菱財閥の第二代総帥岩崎彌之助によつて一括購入され、日本に齋された。杭州の丁氏八千卷樓、常熟の瞿氏鉄琴銅劍樓、山東聊城の楊氏海源閣と並んで、清末の四大藏書樓と称された陸氏の皕宋樓は、その名の如く、皕すなわち二百部の宋版を含むことで、天下にその名が轟いていた。しかるに陸心源の死後、その蔵書が挙げて日本の有に帰することになつたことは、当時の中国文化界に巨大な衝撃を与えたもので、一個の社会的事件としてひとしきり喧伝された。近代以降、多数の宋元古槧を含む善本が中国から日本に舶載されたが、岩崎氏による皕宋樓の購得ほど社会の耳目を集めた出来事はまづないと言つてよい。もちろん社会的事件として重大であるばかりではない。皕宋樓の宋元版は江浙の諸名家に伝存した、來歴の明かな善本であつて、海内の孤本も少なからず、すべて中国古版の標本たるべき書物群である。日本には五山の禪僧が宋元の同時代に舶載した古版も今日まで遺存するほか、幕府の紅葉山文庫や昌平寶の蔵書の精華が今日宮内庁書陵部の蔵書として伝わつてゐるから、静嘉堂文庫以外にも日本国内に所蔵される宋元版は決して少なくはない。しかし静嘉堂文庫の宋元版の数量は、おそらく一個の図書館の収藏として、明治以前から国内に伝存する宋元版の総量に匹敵するものであり、その全貌の公開は長く日中學界の鶴首するところであつた。静嘉堂創設百周年記念の『静嘉堂文庫宋元版圖錄』が公刊されているので、容易にその書影に接することは出来る。しかし今回、『宋元版圖錄』収録分に増補を加え、宋版一二七部、元版一三一部、総計二五八部の全冊を、マイクロフィルム版として公刊されることになつたのは、画期的な出来事であり、實に学界の盛事といえよう。

中国古典籍の名宝

宋時代・元時代出版書の全貌

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授 高橋智

世界に先駆けて印刷文化を成熟させた中国が最も誇る文物こそ宋版であり、そしてそれに次ぐものが元版である。中国では、一点の宋版を所蔵することによって、その図書館は名館となる。

清朝の藏書家は、一点の宋版を所蔵しなくとも、藏書目録作製の際には、借りて来てでも目録に宋版を載せたかった。「百宋一塵」と百の宋版を集めて誇る藏書家、「千元十駕」とそれに対抗するには千の元版を、と誇る藏書家、皆、目指すところは宋版であった。

清末の四大藏書家の一人、浙江の陸心源（一八三四～一八九四）は、上海の郁氏宜稼堂の書が散じると聞くや、すぐさま飛んでいつたが、廣東の丁日昌（一八二三～一八八二、書斎号は持靜齋）に先を越された感があつた。しかしここから陸氏の宋元版収集は拍車がかかり、遂に宋版二百点を収集したという意味で、書庫を皕宋樓と号した。持靜齋は後に散じたが、皕宋樓は今に岡本の静嘉堂書庫に健在である。

写本から刊本へと移り変わる変革の象徴である宋版は、古典籍のテキスト源流研究や、印刷史の貴重な軌跡としての研究など、様々な視点から見直されてきてゐるが、なお原本での閲覧は叶わなくとも、複製によつて一点一点丁寧に頁を繰つていくと、そこには得も言われぬ奥深い文化史、中国および中国人の原点とでも言うべきものを感じ取つていくことができる。

中国では、今、國家事業として、「中華再造善本」を出版、宋・元の善本はもとより明・清・他民族の善本を複製し、研究その他に供している。皕宋樓宋元版のマイクロフィルム版による全貌公開は、これに類する大事業と言つても過言ではない。世界に現存する一千部を超える宋版のうちの、珠玉の部分にあたる静嘉堂所蔵本は、東アジアの研究にとつて欠かすことのできない基幹資料であり、主たる研究機関での常備を願つて止まない。

（掲載は五十音順）



刊行にあたつて

静嘉堂文庫

唐滅亡後初の統一王朝「宋」(九六〇～一二七九)に、どのようなイメージをお持ちだろうか。歐陽脩、王安石、蘇軾、黃庭堅など後世に名を遺す多くの偉大な政治家、文人たちが活躍し、新しい学問、文化が生み出された宋時代。殊に印刷の歴史の中で「宋」の名は特別な重みをもつていて。唐代に始まつたとされる木版印刷が、香り高い大輪の花を咲かせたのがこの宋代であつた。特に国子監などの公的機関で刊行された書籍は厳密な校訂を経た正確な内容を持ち、彫り・摺り共に技術の粹を集めたものが多いた。清新の氣溢れる宋文化を支えたのはこの宋版だったといつても過言ではない。宋の後を継いだ元朝でも書院や路儒学、家塾の発達などにより印刷は隆盛を極めた。そしてこれら宋版・元版が我が国の学問・思想界に多大な影響を与えたことは言を俟たない。

静嘉堂文庫所蔵漢籍の中で最も大きな柱となつてゐるのが、清朝末期四大藏書家の一人、陸心源（一八三四～九四）の旧蔵書である。帰安（浙江省吳興県）出身の陸心源は武人として活躍する傍ら学問を好み、多くの貴重書を蒐集した。没後、清朝末期の大動乱の中で、蔵書の維持管理が困難となつた子息たちより日本にコレクション売却の打診があり、明治四〇年（一九〇七）、静嘉堂文庫の創設者岩崎彌之助（三菱第二代社長、一八五一～一九〇八）が購収。約四四、〇〇〇冊の陸心源旧蔵書が文庫の所蔵となつた。そして宋元版約五、〇〇〇冊の大半はこの中に含まれているものである。その後、静嘉堂では学会の要望に応え、「静嘉堂秘籍志」（大正六年（一九一七））、「静嘉堂宋本書影」（昭和八年（一九三三））を刊行。また平成四年（一九九二）、文庫創設百周年記念事業として作成した「静嘉堂文庫宋元版圖錄（解題篇・圖版篇）」（汲古書院製作）には、宋元版全点の書誌的情報を掲載した。

現在、宋元版の閲覧は文庫内でのマイクロフィルム閲覧に限定されている。原本保護のためのやむを得ない措置であるが、この度、文庫所蔵本のマイクロフィルム出版事業を永年に亘り担当している雄松堂書店の全面的なご協力のもと、宋元版全点のマイクロフィルム版の出版に踏み切ることとなつた。ひとり漢字文化圏のみならず世界の学術・思想界において掛替えのない宝であるこれらの書物が、今後十二分に活用され、斯界に新たな光を灯してくれることを心より願つてゐる。

静嘉堂文庫について

静嘉堂は、岩崎彌之助（一八五一～一九〇八）彌太郎の弟、三菱第二代社長）と小彌太（一八七九～一九四五　三菱第四代社長）の父子二代によつて設立、拡充され、現在、国宝七点、重要文化財八十三点を含む、およそ二十万冊の古典籍（漢籍十二万冊・和書八万冊）と六千五百点の東洋古美術品を収蔵している。図書を収蔵する静嘉堂文庫と、平成四年（一九九二）に開館した静嘉堂文庫美術館から成る。

岩崎彌之助は、明治期の西欧文化偏重の世相の中で輕視されがちであった東洋固有の文化財を愛惜し、その散亡を怖れ、明治二十年（一八八七）前後から本格的に古美術品の蒐集を始めた。また明治二十五年には、学問の師である歴史学者重野成齋（一八二七～一九一〇）の修史事業を援助するために自邸の傍らに文庫を設け、重野を文庫長に迎え、史料となる古典籍の継続的な購入を開始した。これが静嘉堂文庫の始まりとなる。次いで、小彌太の請により諸橋轍次（一八八三～一九八二）が文庫長に就任。昭和十五年（一九四〇）、財団法人を設立して研究者への公開を開始した。戦後の一時期、国会図書館支部として公開事業を継続したが、昭和四十五年（一九七〇）、財団に復帰。平成二十一年（一九九九）には公益財團法人に認定された。



岩崎彌之助
岩崎小彌太

宋版

◎印は重要文化財

◎61 名公書判清明集

62 傷寒總病論 宋龐安時撰

63 新雕孫真人千金方 唐孫思邈撰

64 外臺祕要方 唐王肅撰

65 史載之方 宋史堪撰

66 重校證活人書 宋朱肱撰

67 雞峰普濟方 (宋孫兆撰) 賈兼重校

68 普濟本事方 宋許叔微撰

69 太醫張子和先生儒門事親 金張從正撰

70 太醫張子和先生儒門事親 金張從正撰

71 金壺記 宋釋適之撰

72 書小史 宋陳思撰

73 憨鄰錄 宋岳珂撰

74 自警編 宋趙善璗編

75 白氏六帖事類集 唐白居易撰

76 唐宋白孔六帖 唐白居易・宋孔傳編

77-1 太平御覽(陸心源本) 宋李昉等奉敕編

77-2 太平御覽(竹添本) 宋李昉等奉敕編

77-3 太平御覽(他の一本) 宋李昉等奉敕編

78 册府元龜 宋王欽若等奉敕編

79 重修事物紀原集 宋高承撰

80 東萊先生分門詩律武庫 宋呂祖謙編

81 錦繡萬花谷

82 新編通用啓劄截江網 宋熊晦仲編

83 撇塵錄 宋王明清撰

84 夷堅志 宋洪邁撰

85 歷代編年釋氏通鑑 宋釋本覺撰

86 般若燈論 唐釋波羅頤迦羅蜜多羅譯

87 四分律刪補隨機竭磨疏 唐釋道宣撰

88 首楞嚴義疏注經 宋釋子璿撰

89 金剛經纂要刊定記 宋釋子璿撰

90 四分律含注戒本疏行宗記 宋釋元照撰

91 四分律行事鈔資持記 宋釋智圓撰

30 陳書 唐姚思廉等奉敕撰

31 魏書 北齊魏收奉敕撰

32 北齊書 唐李百藥奉敕撰

33 周書 唐令狐德棻等奉敕撰

34 北史 唐李延壽撰

35 唐書 宋歐陽脩等奉敕撰

36 資治通鑑 宋司馬光撰

37 資治通鑑 宋司馬光撰

38 陸狀元集百家註資治通鑑詳節 宋司馬光撰 宋陸唐老集注

39 資治通鑑釋文 宋史炤撰

40 繢資治通鑑長編撮要 宋李燭撰

41 皇朝編年綱目備要 (宋九朝編年備要) 宋陳均撰

42 通鑑紀事本末 (嚴州小字本) 宋袁樞撰

43 通鑑紀事本末 宋袁樞撰

44 東都事略 宋王稱撰

45 國語 吳韋昭注 (補晉)宋宋庠撰

46 陸宣公中書奏議 唐陸贊撰

47 石林奏議 宋葉夢得撰 葉模編

48 國朝諸臣奏議 (宋諸臣奏議) 宋趙汝愚編

49 歐公本末 宋呂祖謙撰

50 新雕名公紀述老蘇先生事實

51 新刊名臣碑傳琬琰之集 宋杜大珪編

52 新刊指南錄 宋文天祥撰

53 歷代故事 (諸史節要) 宋楊次山編

54 新編方輿勝覽 宋祝穆撰

55 咸淳臨安志 宋潛說友撰

56 重修毗陵志 宋史能之撰

57 圖經 (嚴州重修圖經) 宋董弁撰

58 真西山讀書記乙集上大學衍義 宋真德秀撰

59 西山先生真文忠公讀書記 宋真德秀撰

60 武經七書

61 陳書 唐姚思廉等奉敕撰

62 傷寒總病論 宋龐安時撰

63 新雕孫真人千金方 唐孫思邈撰

64 外臺祕要方 唐王肅撰

65 史載之方 宋史堪撰

66 重校證活人書 宋朱肱撰

67 雞峰普濟方 (宋孫兆撰) 賈兼重校

68 普濟本事方 宋許叔微撰

69 太醫張子和先生儒門事親 金張從正撰

1 經部	周禮 (附晉重言重意互註本) 漢鄭玄注
2 新刊直音傍訓纂集東萊毛詩句解 宋李公凱撰	新刊直音傍訓纂集東萊毛詩句解 宋李公凱撰
3 毛詩舉要圖	毛詩舉要圖
4 周禮 漢鄭玄注	周禮 漢鄭玄注
5 周禮 (附晉重言重意互註本) 漢鄭玄注	周禮 (附晉重言重意互註本) 漢鄭玄注
6 篆圖互註周禮 漢鄭玄注	篆圖互註周禮 漢鄭玄注
7 篆圖互註禮記 漢鄭玄注	篆圖互註禮記 漢鄭玄注
8 〔禮記舉要圖〕 漢鄭玄注	〔禮記舉要圖〕 漢鄭玄注
9 禮書 宋陳祥道撰	禮書 宋陳祥道撰
10 春秋經傳集解 晉杜預注	春秋經傳集解 晉杜預注
11 春秋經傳集解 晉杜預注	春秋經傳集解 晉杜預注
12 樂書 宋陳陽撰	樂書 宋陳陽撰
13 爾雅疏 (單疏本) 宋邢昺奉敕撰	爾雅疏 (單疏本) 宋邢昺奉敕撰
14 說文解字 漢許慎撰	說文解字 漢許慎撰
15 廣韻 (大宋重修廣韻) 宋陳彭年等奉敕重修	廣韻 (大宋重修廣韻) 宋陳彭年等奉敕重修
16 廣韻 (大宋重修廣韻) 宋陳彭年等奉敕重修	廣韻 (大宋重修廣韻) 宋陳彭年等奉敕重修
17 史記 漢司馬遷撰	史記 漢司馬遷撰
18 漢書 (後漢書合刻本) 漢班固撰	漢書 (後漢書合刻本) 漢班固撰
19 漢書 漢班固撰	漢書 漢班固撰
20 漢書 漢班固撰	漢書 漢班固撰
21 後漢書 宋范曄撰	後漢書 宋范曄撰
22 後漢書 宋范曄撰	後漢書 宋范曄撰
23 後漢書 宋范曄撰	後漢書 宋范曄撰
24 吳書 (專刻本) 晉陳壽撰	吳書 (專刻本) 晉陳壽撰
25 國志(三國志) 晉陳壽撰	國志(三國志) 晉陳壽撰
26 晉書 唐房玄齡等奉敕撰	晉書 唐房玄齡等奉敕撰
27 宋書 梁沈約撰	宋書 梁沈約撰
28 南齊書 唐姚思廉等奉敕撰	南齊書 唐姚思廉等奉敕撰
29 梁書 唐姚思廉等奉敕撰	梁書 唐姚思廉等奉敕撰
30 陳書 唐姚思廉等奉敕撰	陳書 唐姚思廉等奉敕撰
31 魏書 北齊魏收奉敕撰	魏書 北齊魏收奉敕撰
32 北齊書 唐李百藥奉敕撰	北齊書 唐李百藥奉敕撰
33 周書 唐令狐德棻等奉敕撰	周書 唐令狐德棻等奉敕撰
34 北史 唐李延壽撰	北史 唐李延壽撰
35 唐書 宋歐陽脩等奉敕撰	唐書 宋歐陽脩等奉敕撰
36 資治通鑑 宋司馬光撰	資治通鑑 宋司馬光撰
37 資治通鑑 宋司馬光撰	資治通鑑 宋司馬光撰
38 陸狀元集百家註資治通鑑詳節 宋司馬光撰 宋陸唐老集注	陸狀元集百家註資治通鑑詳節 宋司馬光撰 宋陸唐老集注
39 資治通鑑釋文 宋史炤撰	資治通鑑釋文 宋史炤撰
40 繢資治通鑑長編撮要 宋李燭撰	續資治通鑑長編撮要 宋李燭撰
41 皇朝編年綱目備要 (宋九朝編年備要) 宋陳均撰	皇朝編年綱目備要 (宋九朝編年備要) 宋陳均撰
42 通鑑紀事本末 (嚴州小字本) 宋袁樞撰	通鑑紀事本末 (嚴州小字本) 宋袁樞撰
43 通鑑紀事本末 宋袁樞撰	通鑑紀事本末 宋袁樞撰
44 東都事略 宋王稱撰	東都事略 宋王稱撰
45 國語 吳韋昭注 (補晉)宋宋庠撰	國語 吳韋昭注 (補晉)宋宋庠撰
46 陸宣公中書奏議 唐陸贊撰	陸宣公中書奏議 唐陸贊撰
47 石林奏議 宋葉夢得撰 葉模編	石林奏議 宋葉夢得撰 葉模編
48 國朝諸臣奏議 (宋諸臣奏議) 宋趙汝愚編	國朝諸臣奏議 (宋諸臣奏議) 宋趙汝愚編
49 歐公本末 宋呂祖謙撰	歐公本末 宋呂祖謙撰
50 新雕名公紀述老蘇先生事實	新雕名公紀述老蘇先生事實
51 新刊名臣碑傳琬琰之集 宋杜大珪編	新刊名臣碑傳琬琰之集 宋杜大珪編
52 新刊指南錄 宋文天祥撰	新刊指南錄 宋文天祥撰
53 歷代故事 (諸史節要) 宋楊次山編	歷代故事 (諸史節要) 宋楊次山編
54 新編方輿勝覽 宋祝穆撰	新編方輿勝覽 宋祝穆撰
55 咸淳臨安志 宋潛說友撰	咸淳臨安志 宋潛說友撰
56 重修毗陵志 宋史能之撰	重修毗陵志 宋史能之撰
57 圖經 (嚴州重修圖經) 宋董弁撰	圖經 (嚴州重修圖經) 宋董弁撰
58 真西山讀書記乙集上大學衍義 宋真德秀撰	真西山讀書記乙集上大學衍義 宋真德秀撰
59 西山先生真文忠公讀書記 宋真德秀撰	西山先生真文忠公讀書記 宋真德秀撰
60 武經七書	武經七書

收錄書目一覽

93	大方廣佛華嚴經疏	唐釋澄觀撰	宋釋淨源疏注
94	大方廣佛華嚴經疏	唐釋澄觀撰	宋釋淨源疏注
95	大方廣佛華嚴經疏	唐釋澄觀撰	宋釋淨源疏注
96	華嚴經疏科		
97	大方廣佛華嚴經隨疏演義鈔	唐釋澄觀撰	
98	大方廣佛華嚴經隨疏演義鈔	唐釋澄觀撰	
99	華嚴一乘分齊章義苑疏	唐釋道亨撰	
100	阿毗達磨大毗婆沙論	(說一切有部發智大毗婆沙論)	
101	南華真經注疏	唐三藏玄奘譯 晉郭象注 唐成玄英疏	
102	莊子膚齋口義	宋林希逸撰 劉辰翁點校	
103	李太白文集	唐李白撰	
104	新刊校定集註杜詩	唐杜甫撰	宋郭知達編
105	王右丞文集	唐王維撰	
106	昌黎先生集	唐韓愈撰 李漢編	
107	唐柳先生文集	唐柳宗元撰	
108	元氏長慶集	唐元稹撰	
109	浣花集	唐韋莊撰	
110	王黃州小畜外集	宋王禹偁撰	
111	古靈先生文集	宋陳襄撰	
112	(追補) 錢塘韋先生文集	宋韋驥撰	
113	王狀元集諸家注分類東坡先生詩		
114	周益文忠公集	宋周必大撰	
115	東萊呂太史文集	宋呂祖謙撰	
116	後村居士集	宋劉克莊撰	
117	東萊呂太史外集	宋呂祖謙撰	
118	唐百家詩選	宋王安石編	
119	三蘇先生文粹	宋蘇洵・蘇軾・蘇轍撰	
120	皇朝文鑑	(宋文鑑)	宋呂祖謙編
121	迂齊先生標註崇古文訣		宋樓昉編
122	後山居士詩話	(百川學海零本)	宋陳師道撰
123	周易集義	魏王弼・晉韓康伯注	唐孔穎達等疏 陸德明音義
124	周易兼義	(十行本十三經註疏之一)	魏王弼・晉韓康伯注 唐孔穎達等疏 陸德明音義
125	周易程朱先生傳義附錄	宋董楷撰	
126	周易集說	元俞琰撰	
127	附釋音尚書註疏	(十行本十三經註疏之二)	舊題漢孔安國傳 唐孔穎達等疏 陸德明音義
128	書〔集傳纂疏〕	(尚書纂疏)	宋蔡沈傳 元陳懋原撰
129	書〔集傳輯錄纂註〕	元董鼎撰	
130	附釋音毛詩註疏	(十行本十三經註疏之三)	舊題漢毛亨傳 鄭玄箋 唐孔穎達等疏 陸德明音義
131	詩〔集傳附錄纂疏〕	(尚書纂疏)	宋朱熹傳 元胡一桂纂疏
132	詩〔集傳通釋〕	宋朱熹集傳 元劉瑾通釋	
133	詩攷	(韓魯齊三家詩攷)	宋王應麟撰
134	附釋音周禮註疏	(十行本十三經註疏之四)	漢鄭玄註 唐賈公彥疏 陸德明釋文
135	儀禮圖 儀禮旁通圖 儀禮	(圖)宋楊復撰	
136	儀禮〔集說〕	元敖繼公撰	
137	附釋音禮記註疏	(十行本十三經註疏之六)	漢鄭玄註 唐孔穎達等疏 陸德明音義
138	禮〔記纂言〕	元吳澄撰	
139	儀禮經傳通解續	宋楊復撰	
140	春秋經傳集解	晉杜預撰 唐陸德明釋文	
141	附釋音春秋左傳註疏	(十行本十三經註疏之七)	晉杜預注 唐孔穎達等疏 陸德明音義
142	音註全文春秋括例始末左傳句讀直解	宋林堯叟撰	
143	監本附音春秋公羊註疏	(十行本十三經註疏之八)	漢何休解詁 唐徐彥疏 陸德明音義
144	監本附音春秋穀梁註疏	(十行本十三經註疏之九)	晉范寧集解 唐楊士勛疏 陸德明音義
145	春秋辨疑	宋蕭楚撰	
146	春秋諸傳會通	元李廉撰	
147	春秋屬辭	(趙訪春秋四種之內)	元趙訪撰
148	春秋諸傳會通	元李廉撰	
149	春秋左氏傳補注	(趙訪春秋四種之內)	元趙訪撰
150	春秋師說	(趙訪春秋四種之內)	元趙訪撰
151	論語註疏解經		魏何晏集解 宋邢昺疏
152	孟子註疏解經	(十行本十三經註疏之一三)	漢趙岐註 宋孫奭疏
153	四書纂疏	宋朱熹集註 趙順孫纂疏	
154	說文字原	元周伯琦撰	
155	大廣益會玉篇	梁顧野王撰 唐孫強校	
156	漢隸分韻		
157	六書統	元楊桓撰	
158	六書統源原	元楊桓撰	
159	六書正譌	元周伯琦撰	
160	增修互註禮部韻略	宋丁度撰 毛晃注 毛居正增	
161	增修互註禮部韻略	宋丁度撰 毛晃注 毛居正增	
162	草書禮部韻寶	宋高宗書 陳汝編	
163	古今韻會舉要	元黃公紹原撰 元熊忠要舉	
164	書學正韻	元楊桓撰	
165	史記	漢司馬遷撰 宋裴駰集解 唐司馬貞索隱	
166	晉書	唐房喬等奉敕撰 何超音義	
167	隋書	唐魏徵等奉敕撰	
168	南史	唐李延壽撰	
169	北史		
170	唐書	(中字本)	宋歐陽脩等奉敕撰
171	遼史	元脫脫(托克托)等奉敕撰	
172	晉書	宋司馬光撰 元胡三省音註	
173	資治通鑑考異	宋司馬光撰	
174	增修陸狀元集百家註資治通鑑詳節	宋司馬光撰	
175	通鑑前編	宋金履祥撰	
176	通鑑續編	元陳檉撰	
177	續資治通鑑	(通鑑三種之二)	宋李燦撰
178	續資治通鑑	(后集・通鑑三種之二)	宋劉時譽撰 元人追補
179	宋季三朝政要	(通鑑三種之三)	(附)宋陳仲微錄 宋李燦撰

元版

181 宋季三朝政要

(逸周書) 晉孔晁注

182 沔家周書

宋鄭樵撰

183 (追補)戰國策

宋鮑彪校註 元吳師道重校

184 註陸宣公奏議

唐陸贊撰 宋郎壁注

185 國朝名臣事略

(元朝名臣事略) 元蘇天爵撰

186 金陵新志

元張鉉撰

187 文獻通考

元馬端臨撰

188 增入諸儒議論杜氏通典詳節

唐杜佑撰

189 通典

元馬端臨撰

190 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

191 龜山先生語錄

宋楊時撰 陳淵等編

192 新刊音點性理羣書句解

宋熊節編 熊剛大集解

193 新刊圖解素問要旨論

金劉守真撰 馬宗素重編

194 新刊晞范句解八十一難經

周秦越人撰 宋李駒句解

195 傷寒論注解

漢張機撰 金成無己注解

196 張仲景註解傷寒百證歌

宋許叔微述
(新刊河間劉守真傷寒論方)

葛離校

197 新刊河間劉守真傷寒論方

宋唐慎微撰 曹孝忠校

198 重刊孫真人備急千金要方

唐孫思邈撰 宋林億等校

199 經史證類大觀本草

宋寇宗奭撰

200 新編證類圖註本草

宋寇宗奭撰 許洪等校

201 本草衍義

宋寇宗奭撰

202 濟生拔粹方

元杜思敬輯

203 新刊風科集驗名方

金趙大中撰 元趙素補

204 新刊惠民御藥院方

元御藥院編

205 至大重修宣和博古圖錄

宋王黼等奉敕撰

206 白虎通德論

後漢班固撰

207 吕氏春秋

秦呂不韋撰 後漢高誘注

208 冷齋夜話

宋釋惠洪撰

209 新編古今事文類聚

宋祝穆編 (新集·外集) 元富大用編

211 新編古今事文類聚

宋祝穆編 (翰墨全書) 宋劉應李編

212 新編事文類聚翰墨大全

(翰墨全書) 宋劉應李編

213 太學重新增修決科載江網

宋郭茂倩編

214 山堂先生羣書考索

宋章如愚編

215 玉海

宋王應麟編 (元陰時夫編 陰中夫註)

216 韻府羣玉

元陰時夫編 陰中夫註

217 新編排韻增廣事類氏族大全

元陰時夫編 陰中夫註

218 增新說文韻府羣玉

元陰時夫編 陰中夫註

219 師子林天如和尚語錄

元釋惟則撰 元釋善遇編

220 道德經註

宋蘇軾撰

221 關尹子言外經旨

宋陳顯微撰

222 清庵先生中和集

元李道純撰 蔡志頤編

223 箴註陶淵明集

晉陶潛撰 宋李公煥註

224 分類補註李太白詩

唐李白撰 宋楊齊賢注

225 分類補註李太白詩

唐李白撰 宋楊齊賢注

226 集千家註分類杜工部詩

唐杜甫撰 宋徐居仁編 黃鶴補注

227 須溪先生校本唐王右丞集

唐王維撰 宋劉辰翁校

228 香溪先生范賢良文集

(香溪集) 宋范浚撰 高柄編

229 晦庵先生朱文公文集

宋朱熹撰

230 張文忠公文集

(雲莊類藁) 元張養浩撰

231 元松鄉先生文集

元任士林撰

232 趙子昂詩集

元趙孟頫撰 元譚渭編

233 趙子昂詩集

元趙孟頫撰 元譚渭編

234 筠溪牧潛集

(天隱禪師文集) 元釋圓至撰

235 清容居士集

元袁桷撰

236 道園遺藁

元虞集撰

237 新編翰林珠玉

元虞集撰

238 檜亭彙

元丁復撰

239 金華黃先生文集

元黃溍撰 危素編 劉耳校

243 梧溪集

元王逢撰

244 二范全集

宋范仲淹·范純仁撰

245 樂府詩集

宋郭茂倩編

246 文章正宗

宋真德秀編

247 翰苑英華中州集

金元好問編 元郝天挺注

248 註唐詩鼓吹

金元好問編 元郝天挺注

249 國朝文類

(元文類) 元蘇天爵編

250 洞霄詩集

元道士孟宗寶編

251 新刊類編歷舉三場文選

元劉仁初編

252 中州啟劄

元吳宏道編

253 洞霄詩集

元道士孟宗寶編

254 註唐詩鼓吹

金元好問編 元郝天挺注

255 新刊類編歷舉三場文選

元劉仁初編

256 註唐詩鼓吹

金元好問編 元郝天挺注

257 新刊類編歷舉三場文選

元劉仁初編

258 註唐詩鼓吹

金元好問編 元郝天挺注

259 新刊類編歷舉三場文選

元劉仁初編

260 註唐詩鼓吹

金元好問編 元郝天挺注

261 新刊類編歷舉三場文選

元劉仁初編

262 註唐詩鼓吹

金元好問編 元郝天挺注

263 新刊類編歷舉三場文選

元劉仁初編

264 二范全集

宋范仲淹·范純仁撰

265 通志

宋鄭樵撰

266 戰國策

宋鮑彪校註 元吳師道重校

267 國朝名臣事略

(元朝名臣事略) 元蘇天爵撰

268 金陵新志

元張鉉撰

269 文獻通考

元馬端臨撰

270 增入諸儒議論杜氏通典詳節

唐杜佑撰

271 通典

唐杜佑撰

272 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

273 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

274 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

275 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

276 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

277 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

278 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

279 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

280 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

281 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

282 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

283 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

284 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

285 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

286 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

287 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

288 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

289 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

290 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

291 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

292 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

293 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

294 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

295 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

296 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

297 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

298 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

299 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

300 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

301 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

302 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

303 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

304 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

305 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

306 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

307 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

308 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

309 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

310 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

311 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

312 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

313 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

314 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

315 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

316 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

317 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

318 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

319 雷蕡居士東京夢華錄

宋孟元老撰

清朝末期の最も著名な蔵書家、陸心源遺書が9割を占める

オンライン版

静嘉堂文庫所蔵

宋元版

宋版の厳密な校勘を経たテクストは学術発展の基礎となり、日本の学界にも大きな影響を与えた

印刷史、哲学、歴史学、文学、医学など東アジアのあらゆる分野の史的研究に不可欠な史料

重要文化財に指定されている宋版18点を含む静嘉堂文庫所蔵宋元版258部5182冊は、永らく門外不出とされ文庫の奥深く秘蔵されてきた。原典保護の観点から文庫での閲覧もマイクロフィルムに限られてきた。今回特別に静嘉堂文庫の許可を得て、オンライン版として広く公開される運びとなった。

編集・発行：公益財団法人 静嘉堂 静嘉堂文庫

セット価格：14,904,000円（消費税別）

対象資料：全258部5182冊

宋版（金版1部9冊を含む）127部2629冊

元版 131部2553冊



103 李太白文集（重文）30卷首目1巻

オンライン版について

プラットフォーム：J-DAC ジャパン デジタル アーカイブズ センター

閲覧ブラウザ：Internet Explorer 11。Microsoft Edgeの場合、Internet Explorerモードでの閲覧になりますので、ご注意ください。

- オンライン版のご利用には、別途利用契約書のご提出が必要となります。ご契約は機関契約に限ります。
- 画像は閲覧のみとなります（印刷・ダウンロード不可）。リモートアクセスはできません。

*分売ユニット価格設定があります（ユニット以下の分売不可）。

宋 版			
ユニット	資料番号	部	価格（税別）
1	1～16	経部	¥345,000
2	17～23	史部	¥690,000
3	24～32	史部	¥759,000
4	33～36	史部	¥667,000
5	37～43	史部	¥690,000
6	44～追補253	史部	¥621,000
7	57～77-1	子部	¥874,000
8	77-2～77-3	子部	¥920,000
9	78～102	子部	¥874,000
10	103～122	集部	¥828,000

元 版			
ユニット	資料番号	部	価格（税別）
11	123～140	経部	¥713,000
12	141～164	経部	¥713,000
13	165～170	史部	¥805,000
14	171～182	史部	¥805,000
15	追補256	史部	¥690,000
16	183～190	史部	¥667,000
17	191～209	子部	¥483,000
18	210～214	子部	¥667,000
19	215～222	子部	¥690,000
20	223～230	集部	¥690,000
21	231～252	集部	¥713,000

【総販売代理店】※一般書店ではお取り扱いしておりません

MARUZEN-YUSHODO 丸善雄松堂株式会社 企画開発統括部

〒104-0033 東京都中央区新川1-28-23 東京ダイヤビルディング5号館10階 e-mail: kenkyushien@maruzen.co.jp

Y-15002 Nov 2025